不審船事件撮影の10人に
映像年間MVP賞

世論変えたリアルな映像

映像年間ＭＶＰ賞の授与式

奄美大島沖の不審船事件で、初の海上保安映像年間ＭＶＰ賞が十人に授与された。海上保安関係の広報活動のうち顕著な功績については本庁総務部長から広報プレーアップ賞が月ごとに授与されているが、不審船事件を契機に映像年間ＭＶＰ賞が創設された。

事件契機に創設の賞

映像はインパクトが大きく、言葉では説明できない説得力がある。不審船事件でも当初は海上保安庁の救助活動などに対する厳しい批判があり、マスコミ報道により国民に不信感が生じたが、リアルな被弾状況の映像などの提供で世論が大きく変わるという効果があった。

受賞者（敬称略）

林　博之（羽田基地ＬＡＪ570・上席整備士）巡視船到着前に不審船を確認、撮影

辻　陽司（羽田基地ＭＡ952・整備士）巡視船「いなさ」の追跡、停船命令の状況を撮影

長友順一郎（串木野きりしま主任主計士）「きりしま」の停戦命令状況を撮影

横尾　純一（福岡みずき主任主計士）不審船前部への威嚇射撃と不審船の逃走シーンを撮影

花野　忠則（羽田基地ＬＡＪ570・整備士）威嚇射撃による不審船火災と消火行動を撮影

平江　達稔（名瀬あまみ主計士）巡視船二隻が不審船に接舷した際、不審船乗組員が巡視船に対し発砲・攻撃し、「あまみ」が被弾、外板のペイントが飛び散る生々しい状況を撮影。撮影者は船橋船尾側に身を隠し冷静に行動

大井　利明（羽田基地ＭＡ952・通信士）不審船攻撃から後退する巡視船に対し不審船がロケットランチャーで攻撃した瞬間を撮影

樋口　和徳（長崎いなさ主任主計士）巡視船の正当防衛射撃を撮影

梶本　直樹（羽田基地ＭＡ952・探索レーダー士）射撃後、不審船が沈没したが、巡視船の武器では発生しにくいような爆発の状況を撮影

牧　勇一（運用司令室整備係主任）ロケットランチャーの瞬間映像をスローモーション化したり、「あまみ」の被弾状況、「いなさ」の正当防衛射撃の映像にテロップを挿入し、理解しやすく編集

当面の改善目標まとめる
「合流式下水道」対策検討委

海上保安庁の調査がきっかけで設置された合流式下水道改善対策検討委員会（座長＝松尾友矩・東洋大教授）の最終会合が二月末開かれ、ほぼ十年以内にＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）汚濁負荷量を分流式下水道以下にするなど当面の改善目標がまとめられた。対策推進に当たり、各委員から海上保安庁が流域の状況をチェックし、情報提供してほしいとの意見が出された。

下水道管理者の速やかな対応期待

大都市圏を中心に下水道整備が早く進んだ全国一九二の自治体で採用している合流式下水道では、汚水と雨水を同じ管で流すため、雨天時に大量の雨水が流入すると、下水の一部が未処理のまま河川や海に流されている。平成十二年九月、東京・お台場海浜公園に下水道から流れ出たオイルボールの漂着が判明。海上保安庁の呼びかけで合流式下水道改善対策に取り組むことになった。

昨年六月、検討委員会を設置、東京湾、伊勢湾、大阪湾各流域など一三都市で実態調査を行うとともに、委員会を五回開催し、改善対策をまとめた。対策のうち当面の目標は合流式下水道採用の全都市で十年以内に❶ＢＯＤ汚濁負荷量を分流式下水道以下にする❷下水合流部分にある外部への吐き口からの未処理放流（越流）の回数を半減させる❸吐き口でのきょう雑物の流出を防止するの三点。

この目標達成のため、下水道管理者は速やかに対策に着手し実態や改善状況を把握、住民への情報提供や雨水の貯留、浸透の促進などを進めるべきだと指摘している。

ＩＭＯ小委へ北村船舶課長

ＩＭＯ（国際海事機関）の第45回船舶設計設備小委員会が三月十八日から二十二日までロンドンで開かれ、海上保安庁から北村正一・船舶課長が出席する。

同小委はＩＭＯ海上安全委員会の下部機関で、船舶の設計・設備の技術基準を検討している。今回はＩＭＯの操船性暫定基準の見直し、電気設備に関するＳＯＬＡＳ（海上における人命安全のための条約））要件の改正など二六議案が審議される。

管内の四つの排防協を統合
稚内保安部

稚内保安部は、管内四つの排出油防除協議会を統合させることにし、三月六日、稚内水産ビルで説明会を開いた。

道北地区には、港湾の海上災害対策のため稚内港災害対策協議会があったが、平成八年三月施行の改正海防法により稚内地区以外の日本海北部、利尻礼文、オホーツク海北地区にも「排出油の防除に関する協議会」が設立された。

しかし、稚内以外の三協議会は防除資機材が少なく、体制も万全ではない。サハリン北部の石油開発に伴い、宗谷海峡付近での排出油事故発生の懸念があることから、保安部管内の遠別町から枝幸町までの道北地区沿岸を一つのエリアとして、四協議会の構成メンバーである関係機関・団体などが合理的、効率的に防除活動ができるよう一本化した。（稚内）

海洋観測データ「適切な管理を」
国際ワークショップ
12カ国1機関参加

「西太平洋における海洋観測データ発掘救済プロジェクトの推進に係る国際ワークショップ」が三月五日から七日まで海上保安庁水路部で開かれた。

世界各国が長年蓄積した海洋観測データは適切な管理がされないと、記録媒体が劣化したり、災害や研究者の異動などで利用できなくなる。利用されず埋もれているデータを発掘・活用するため、ユネスコ政府間海洋学委員会と国際海洋データ・情報交換委員会が「世界海洋観測発掘救済データプロジェクト」を推進している。

西太平洋域ではこの計画が滞っていたので、二〇〇一年から五年計画が実施されることになり、関係各国代表が円滑・効果的な実施方法について検討することになった。海上保安庁に設置された日本海洋データセンターは西太平洋海域のデータ管理に責任を持っていることから、日本がリーダーとして計画を推進する。

ワークショップには日本海洋データセンターの桂忠彦所長（海上保安庁海洋情報課長）ら一二カ国、一機関代表と日本の学者二人が参加、各国のデータ管理の状況や課題について議論した。

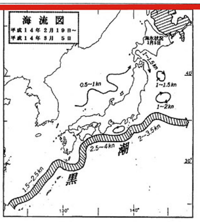
高木政務官、十一管内を視察

「ばんな」で石垣島周辺を視察する高木政務官

高木陽介・国土交通大臣政務官は三月二日から四日まで十一管内を視察した。石垣航空基地で杉原和民本部長から業務説明を受けた後、巡視船「ばんな」（石垣）、ＹＳ11「しゅれい2号」、ヘリ「かりゆし2号」（那覇基地）に乗り、海上、上空から管内全域を視察した。

与那国島では石垣保安部駐在員を、尖閣諸島付近では台湾漁船取締り中の巡視船「はてるま」を激励。本部長ら幹部に「現場の職員のことを第一に考えて業務に当たって欲しい」と語った。（十一管）

海洋概況
（海洋速報9号から）



海上保安庁監修　㈶日本水路協会調整
詳細情報は同協会海洋情報室から入手できます。電話　03-3543-0770

黒潮流域＝本流は都井岬で離岸し、足摺岬から潮岬では接岸傾向で流れ、御前埼南南西方の冷水の南側から三宅島付近を通り、犬吠埼東方まで北上した後、東方に流れている。

親潮及び混合水域＝表面水温は0～13℃を示しほぼ同温、沿岸域でもほぼ同温である。

日本海＝表面水温は0～14℃を示しほぼ同温、沿岸域でもほぼ同温である。

冷水渦＝御前埼南南西方に見られる。

暖水渦＝塩屋埼東北東方、魹ヶ埼東北東方に見られる。

海氷概況＝3月5日の流氷は、国後水道から太平洋に流出し、先端は北緯43度30分付近まで南下している。一方、稚内から網走沿岸では開放水面が見られる。

牛深海上防犯支援協議会を設立

牛深保安署は密航・密輸事案などの情報ネットワーク「牛深地区海上防犯支援協議会」を設立、三月五日、牛深市役所会議室で設立総会を開いた。管内の一市二町と漁業・海事、マリンレジャー関係者、タクシー・バスなどの陸運業者など個人を含む五七団体が参加。会長には西村武典・牛深市長が就任した。

天草西岸は人家がまばらで監視が行き届かない入江や港が多く、過去に中国人集団密航事件も発生しており、協議会設立で犯罪情報の早期入手が期待される。（牛深）

救難所救助

紀南西部　3月11日午後6時15分、和歌山県御坊市の関西電力の南南西約6キロで静岡県西伊豆町のプレジャーボート・三笠丸（4・9トン、乗船者3人）が航行不能と田辺保安部に救助要請。救難所御坊市支所所属船が午後7時50分、御坊市塩屋漁港へ曳航。

病院へリポートへ運んだ。

転落のケガ人搬送

三月五日午後四時四十分、千葉港袖ヶ浦沖に錨泊中のタンカー・日進丸（四九九トン）から、一等航海士(52)が貨物タンク清掃中、はしご（高さ一・五メートル）から落ちて動けなくなったと118番で救急要請があった。千葉保安部巡視艇「そでかぜ」が収容、午後五時半すぎ、袖ヶ浦市公共ふ頭で消防救急隊に引き継いだ。

政策評価懇談会開く

ロシア国境警備庁一行

訓練などに触れ、「両国が共同して犯罪に対処したい」と述べ、縄野長官は「日ロの連携を強化して具体

研修

四管　2月26日、パソコ

Outlookの概要と初期設定、画面構成と基本操作、メール送受信、連絡先の利用、予定・仕事の管理など

午前二時、意識不明の機関長を吊り上げ、病院に運んだが、死亡が確認された。

爆発物処理2件

貨物船が当て逃げ

三月十三日午前九時三十五

きれいな海を護るネオス

高粘度油用油処理剤	ネオス　D-1128	型式承認番号Ｐ-553
通常型油処理剤	ネオス　AB3000	型式承認番号Ｐ-258
	ネオス　AB2000	型式承認番号Ｐ-257
液体ゲル化剤	ネオス　ジェリーロック	型式承認番号Ｐ-440

株式会社ネオス
本社　神戸市中央区磯辺通3丁目1-2（第三建大ビル）TEL：078-331-9384
東京支店　東京都港区芝公園2-6-15（黒龍芝公園ビル）TEL：03-3434-7823